



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syujukai.org/> E-mail ikoinosato@syujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編集：季刊誌編集委員会

第76号御挨拶

理事長 中村 猛

皆さん、こんにちは。

日の出が早くなり、昼夜の寒暖差は大きいですが、日中の陽光に早春の輝きが徐々にその強さを増す季節を迎えました。南方から桜前線開花便りが北上してまいります。

降りそそぐ太陽の光は地中の草木の発芽を、又、落葉樹の若芽の発生を促しております。自然界は冬の巣ごもりから春の活動期に入っております。我々の人間社会も近代の文明発達で季節の移ろいが希薄になってきていますが、めりはりの利いた新春の活動を期待したいものです。

私達の両法人の今年の新入社員は昨年同様15人が入職します。彼らにとっての人生初めての社会の登竜門をくぐって、これから立派な社会人に育っていくよう、職場は全力をあげその育成に尽力したく思っております。

私も自分が生かされてきたこの我が人生を振り返り、ありがたい両親、恩師、先輩、後輩諸氏の幾多のお世話になった御恩を身をもって感じ、その新入社員の育成に頑張りたいと思っております。

新人入社式を迎えて、現在の社会の教育制度をもう一度考えて、改めて、新たな刷新と努力を行ってまいります。

益々多様化し、複雑でスピーディな世の中になり、若者の前途はIT化の進むスマートフォン等の発達で活字書物の考える社会から離れ、とまどい、未来の夢、希望、活力が弱まっているのではないかと懸念します。いくらAIが進歩しても、主体は我々感性を貴ぶ人間であり、意志、決定、責任を荷ねねばなりません。

我々の社会の世代の良き循環で平和で豊かな社会への目標に進むにも若者のより良い教育システムは不可欠の最大重要課題と思います。

毎年こうしたリフレッシュできる春の到来はありがたく、享受して頑張っております。



令和6年度 両法人・合同入社式開催

(記：人事部 高杉)

新しい一歩を踏み出す15名の新卒者が4月1日、当法人グループに入職しました。彼らは熱意と情熱を持ち、患者さま、利用者の皆さまへのケアに全力を注ぐことを誓いました。我々は彼らを心から歓迎し、今後の成長と成功を心待ちにしています。この新たなメンバーが、当法人グループの理念と価値観を共有し、地域の皆さまに最高の医療と介護サービスを提供するために活躍することを期待しています。





診療報酬改定と病院を取り巻く環境について

院長 高橋 輝

春を迎え気候とともに気分も明るくなる時期になりましたが、病院にとっては寒風が益々強まる環境です。春闘で5%以上の賃上げとのニュースを聞いている最中、医療の公定価格を決める診療報酬改定はわずか0.88%の増加に留まりました。また、各病棟の基準値が厳しくなり、格下げを強いる医療施策となっています。

医師の働き方改革も4月から施行され、時間外対応が困難になる病院・地域が発生すると思われます。患者さんには関係ないこと、ではありません。病棟の基準値は入院患者さんの病状で決まります。このため、基準に満たない患者さんは

入院できないと判定されたり、時間外に受診できる病院が減っていくことが懸念されます。十分な賃上げができないため、医療介護の人材不足も深刻です。このような大変厳しい医療環境ですが、外来患者数は年々増加しており、4月から呼吸器内科常勤医を迎え、中村病院としての総合力向上に努力しております。

ここ数年感染対策などのため、外来や入院での運用変更を逐次お願いしておりますが、今後とも温かいご支援とご理解をお願い申し上げます。



赴任挨拶

呼吸器内科 部長 白石 訓



こんにちは。白石 訓（しらいし さとし）です。

1994年に大阪市立大学（現 大阪公立大学）を卒業し、大学病院での研究医、大阪市立十三市民病院での勤務を経て早期定年退職し、本年度より中村病院で皆さまと御一緒に働かせて頂

たが、当院では内科全般にわたって広く対応して参ります。

以前、私の初期研修中、上級医師が患者さんへ病状説明している場に同席していました。難治性の膠原病の方に対して、「私はあなたの病気を治せないかもしれませんが、自分が出来るだけの事をします。」と説明されました。何気ない言葉ではありますが、慢性疾患を主な診療対象とする内科医として大切な言葉となっています。

この度、地元で診療することに責任と緊張を感じていますが、皆様に教えてもらい、助けて頂ければ何とかなるか！と楽観的に考えています。どうぞよろしくお願い致します。

くことと致しました。

前任病院では呼吸器内科医として気管支喘息や肺結核、新型コロナウイルス感染症などの呼吸器感染症を専門としてきまし



赴任挨拶

整形外科 宮島 崇人



はじめまして、整形外科の宮島崇人と申します。

私は関西医科大学整形外科学講座に所属しており、昨年までは附属大学病院で勤務しておりました。今年度より中村病院での勤務となりましたので何卒よろしくお願い申し上げます。

一般的な整形外科の外来治療から骨折、慢性疾患の手術治療に至るまで全身の運動器疾患の治療に携わらせて頂きます。日常的に抱えておられる痛みや悩みがあったり、不幸にもケガを追ってしまった場合には当方外来までお越しいただくと、

お力添えができると思いますので気兼ねなくお話をお聞かせください。日常診療中のご意見やご要望があれば今後の診療の改善の為にも気軽に話しかけて頂ければと思っております。

また、学生時代の部活動ではバスケットボールに励んでおりました。その当時に比べると劣りますが、体力にはまだまだ自信がございますので、これからの勤務で1日1日を全力で過ごし、かつ楽しみながら成長していければと思っております。

少しでも自分の目指す医師像に近づけるよう努力して参りますので、ご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

4月を迎えて

なごみの里・サテライトなごみの里 事務長 原田 陽 造

なごみの里 QR



昨年、なごみの里は新入職者を迎える事がなく、寂しい入社式となりましたが、今年度は3名（介護士2名、支援相談員1名）が入職することとなりました。入職後は各部署配属前に研修期間を設け老健施設また社会人としての基礎研修を行ってまいります。専門職以前に社会人としての心構えをしっかりと指導し、特に接遇に関しては、ご利用者との接し方、話し方など研修後も継続して見守ってまいります。

世間ではコロナ感染症は5類相当になってニュースでも一時のような取り上げ方が少なくなりましたが、高齢者施設においては若干減少傾向になってはおりますが、まだまだ油断する事は出来ません。当施設においても感染される方もおられ依然として感染力の強さは変わりありません。一般社会ではコロナ禍前の生活習慣にもどりましたが、高齢者施設では、まだ一般社会同様の考え方では業務にあたれないのが現実です。これからも高齢者施設の使命と考え、なごみの里の規則に沿った生活をおくり、ご利用者と向き合ってまいります。

問題化される人材不足の中でなごみの里では、昨年夏

から外国人雇用も始まり、現在では6名の介護士が業務にあたり、明るく笑顔でご利用者と向き合っており間もなく全員が夜勤業務にもあたれるほどに成長し大変喜ばしく、あと1年もたてば逆に日本人を指導できるほどにスキルアップしてくれるでしょう。先輩職員も明るく笑顔で業務にあたる外国人と共に切磋琢磨し今以上明るい施設にしてくれることと期待をしております。

また、4月からは3年ごとの介護報酬改定が実施されます。改定によりご利用者・ご家族への利用料等のご負担が増す事もご承知おきいただくと共に、ご利用者から利用料は増え、質は落ちたと言われないよう職員一同、心引き締め業務にあたっておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



現場の問題と課題

訪問介護ステーションみどり 所長 中井 正 人

私たちの仕事は、ご利用者の様々な人生と向き合い一人の人間として接することが、支援の本質ではないかと考えています。一方で、現場の仕事はルーティン化した業務が大半で、自分がロボットになった感覚に陥り、人のために働きたいと志を持って入職した人が、そのギャップに耐えられず辞めていくことも日常茶飯事です。施設や事業所を運営する企業や法人は、慢性的な人手不足に悩み、常に赤字、倒産の危機にさらされています。

なぜそうなるのかを考えると、業界特有の難しさが存在しているのではないかと感じます。支援が必要な人の生活を

守る福祉の現場は、プライバシーを意識し内に閉じこもりがちになります。結果、独りよがり的な支援に陥ったり、いったい誰のための支援なのかがわからなくなることもあります。

世界を閉じれば安全かもしれませんが、内向きばかりでは息も詰まりがちです。閉じた世界を外へ開き、様々な境遇の人が尊重し合って生きること。既定路線にこだわらず、新しい風を取り込んでいくことが、今求められていることではないかと感じています。

在宅支援

介護保険改正に思うこと

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康 宏

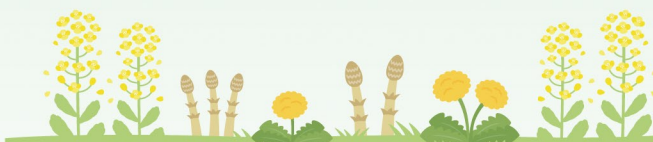
包括みどり QR



介護保険制度は、3年に一度介護報酬を「改定」して見直しをしています。この介護報酬はサービス事業所の収入に直結するとても大切なものです。また、介護保険制度そのものを「改正」して見直しも行われています。このように介護保険制度は、定期的な改定と改正とがあります。私ども包括にとっては、「改正」が大きく関わり、令和6年度からとても大切な改正施行があります。それは、地域包括支援センターの負担軽減の一端で、予防プラン（要支援1・2）は、これまで利用者は包括としか契約することができませんでしたが、4月からは地域の居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）とも直接契約でき、プラン作成を依頼することが可能になります。

にわかに包括の負担軽減になるのかどうかは定かではありませんが、利用者の選択肢が増えることは大きなメリットであると感じています。

制度を変えると複雑になりがちですが、高齢者や家族（私たちも含め）にとって分かりやすい介護保険制度であってほしいものです。





「社会に参加できる支援」を目指して

たんぼぼ藤阪 管理者 福本悦子

たんぼぼ田口 管理者 梅村 匠

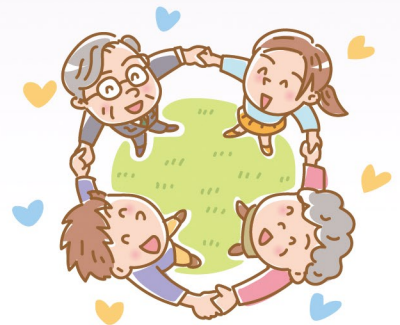


令和6年4月1日より、松樹会にある2つのグループホームにおいて、たんぼぼ藤阪の管理者梅村匠がたんぼぼ田口へ、たんぼぼ田口の管理者福本悦子がたんぼぼ藤阪に就任することとなりました。どちらも、3年半前に今のグループホームの管理者として就任し、コロナ感染症対策に追われながらも魅力あるグループホームへとスタッフと共に切磋琢磨して参りました。今回はそのお互いの良い所を伝達していくことで、両施設の更なるスキルアップを目指しております。

今年のグループホーム部門としてのビジョンは「認知症があっても社会に参加できる支援」とし、コロナ禍において希薄になってしまった地域との交流を、活性化させたいと思っています。また、地域貢献活動とし、オレンジカフェなどのイベントを開催し、認知症になっても、家族と地域で安心

して暮らせるお手伝いをしていきたいと考えております。

2つのグループホームが、より一層地域に根差し、近隣の皆様が困った時には、相談に来て頂ける施設となれるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



春の兆し

いこいの里長尾 介護福祉士 マイ・ベ・グエン



桜が咲き、ツバメが空を飛ぶのは春に入った兆しです。去年は、新入社員として、いこいの里長尾で介護の仕事を1年間しておりました。期待と不安を抱えながら、社会人としての歩みを始めました。私の職場では、玄関先にツバメの巣があります。ツバメの

ヒナが成長し飛び立つように、私達も介護の道を一步一步歩んでいきたいと考えています。

まだまだ、至らないところも多いですが、もっと成長していきたいと思い意欲をもって取り組んでいます。今年も桜の季節が始まります。一緒に頑張っていきましょう。



新人研修発表会

各施設連絡先

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
中村記念クリニック 072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
サテライトなごみの里 072-818-2071
デイサービス 長尾の里 072-818-2071
有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727
グループホーム たんぼぼ長尾 072-868-2195
ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
地域包括支援センター みどり 072-845-2002
障害福祉サービス パラグリーン 072-867-3377
研修所 みどりの樹 0264-44-2550

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
デイサービスセンター いこいの里 072-849-2210
サテライト いこいの里 072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪 072-868-2192
特別養護老人ホーム いこいの里長尾 072-868-1893
ケアハウス つくしんぼ長尾 072-868-2190
デイサービスセンター 長尾 072-868-2191
ケアハウス つくしんぼ藤阪 072-868-2191
グループホーム たんぼぼ藤阪 072-868-2197
グループホーム たんぼぼ田口 072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ 072-868-2193
看護小規模多機能ホーム ながお 072-868-1894
障害福祉サービス ミルキーウェイ 072-867-5690

ルーク山田眼科 072-868-0880